

◆単元のポイント

○ゆとりある活動構成

～じっくりかかわるゆとり、評価支援のゆとり～

幌西の町探検は、夏休みの自由探検を含め1学期から2学期までの長いスパンでの活動を構成しています。何回も地域に自分の足で出かけることで、自分と対象との「つながり」を実感しながら多くの気付きが生まれてきます。また、対象とのかかわりによって生まれた「つながり」の情報を、子供に返すことで、自分のよさや可能性を自覚し、一人一人が自分の目的に向かって活動が進んでいきます。

○“もの”から“人”，そして愛着へ

子供たちは、地域に出かけゆとりをもって充分に対象にかかわることによって、そこにあるお店・施設といった“もの”を接点とする活動から、地域との接点が、“人”へと移行していきます。子供の活動での満足感や成就感は、自分と地域で生活を営む人がどれだけつながりをもてるかによって決まるといっても過言ではないと考えます。すなわち、その人の仕事ぶりや人柄に直接に触れる活動により、その人を通じて地域と自分とのつながりができ、それが地域に対する親しみの気持ちや愛着へとつながっていくのです。

◆単元の目標

- 友だちと力を合わせて町探検をしようとする。 (関心・意欲・態度)
- 探検で調べてきたことを、自分たちの考えた方法で表現することができる。 (思考・表現)
- 自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわっていることに気付き、それらに愛着をもち、人々と適切に接することができる。 (気付き)

◆単元の構想（37時間扱い）

1学期 『幌西の町をたんけんしよう①』 (17)

探検その1 マーク集めの探検をしよう

- ・探検の準備をしよう
- ・マーク集めの探検に出かけよう
- ・幌西マークマップをつくろう

探検その2 もう一度探検をしよう

- ・探検の準備をしよう
- ・幌西の町探検に出かけよう
- ・探検の報告会の準備をしよう
- ・探検の報告会をしよう

探検その3 三度目の探検をしよう

※活動の流れは探検その2と同様

＜留意点＞

- ・地域にある商店や公園などの写真を提示し、マーク集めの意欲化を図る。

- ・もっと～したい、くわしく見てみたいという思いや願いを大切にしていく。

- ・探検の目的をしっかりとたせる

- ・夏休みは自由探検。家庭にはお願いしてください。

- ・おすすめの〇〇は場所やものだけではなく、そこで生活を営む人々とのかかわりをより大切にしていく。

夏休み 「夏休み幌西探検物語り」作りの探検

2学期 『幌西の町をたんけんしよう②』 (10)

幌西の町おすすめの〇〇の紹介をしよう

- ・ぼくのわたしのおすすめの〇〇を決めよう
- ・おすすめの〇〇探検をしよう
- ・おすすめの〇〇報告会の準備をしよう
- ・おすすめの〇〇報告会をしよう

3学期 『さっぽろ雪祭りをたんけんしよう』 (10)

- ・探検の準備をしよう
- ・探検に出かけよう
- ・報告会の準備をしよう
- ・報告会をしよう

- ・探検を通して、自分と地域とのつながりをより意識することができるようにする。

◆実践するにあたって

1学期～夏休み～2学期～3学期と長いスパンでの探検活動になるので、探検に出かける目的や調べてくるポイントを事前に明確にしておく必要があります。もっと～したい、今度は～をしたいという子供の思いや願いをしながら展開していくことが大切です。また、探検にかかわって保護者や地域への協力等のお願いを充分に配慮していくことも大切です。